研究発表

研究リテラシー入門シリーズ：研究の世界A

京都大学高等教育研究開発推進センター
情報メディア教育開発部門
小山田耕二

発表するまで

海保博之編著,"プレゼンテーション",共立出版,ISBN4-320-00888

- 口頭発表の利点
  - 迅速性が高い
  - 身振り手振りによる内容のアクセント
  - 質疑応答の機会
- 発表に臨む心構え
  - 目的の確認
  - 報告する相手を知る
  - 報告内容を確定する
  - 内容に自信を持つ
  - 報告の場にあったメディアの選択
- 発表の準備
  - 発表の骨組みとなる事実を確認する
  - 発表シナリオを書く
  - レジメをつくる
  - リハーサルをしっかり行う

発表する

海保博之編著,"プレゼンテーション",共立出版,ISBN4-320-00888

- ゆとりをもってわかりやすく話す
  - 「参加者が大勢であっても相手はひとり」の気持ちで
  - 上手に話すよりわかりやすく
  - イメージをとらえてゆっくりと
  - 自信のある話し方で
  - 言い訳は禁句
- 導入と運びのメリハリが必要
  - 導入に工夫
  - 説明に入る前に全容を
  - 順序だてて簡潔に
  - ポイントの数をあらかじめ示す

発表を終えるにあたって

海保博之編著,"プレゼンテーション",共立出版,ISBN4-320-00888

- 発表を締めくくる
  - 要約をきちんと行う
  - 所感は述べないほうがよい
- 質疑応答を活用して補足する
  - 質問を想定する
  - 質問を促す

グループ発表会

- 各グループごとに
  - 進行役（編集委員長）
  - タイムキーパー（編集委員長の指名する学生）
  - 発表順序の決定（編集委員長）
  - 5分間で課題論文内容について説明
  - 3分間で以下の観点で質疑（次発表の学生＋1名）
    - 主題を明確に説明できたか？
    - 問題、仮説、検証、結論をはっきり説明できたか？
  - グループ代表（自薦可）を投票（全員）
    - 白紙に無記名で発表番号（論文番号ではない）を記入
    - 編集委員長が回収・集計
  - 投票結果を発表（編集委員長）

投票用紙

グループ代表投票用紙

発表番号	推薦
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	

グループ代表として推薦する発表にチェックをつけてください